

印

印

※正本・副本ともに欄外に捨印を押印してください

記載例

農地法第5条第1項の規定による許可申請書

神奈川県知事 殿

許可申請書提出日 令和〇〇年 4月 10日

認印可

譲受人 氏名 朝日 花子

印

譲渡人 氏名 藤沢 太郎

印

※A3サイズに拡大してください

下記によって転用のため農地(採草放牧地)の権利を設定、移転したいので、農地法第5条第1項の規定によって許可を申請します。

1 当事者の住所等	当事者の別	氏名	住所	職業					
	譲受人	朝日 花子	藤沢市江の島1番地の1	会社員					
	譲渡人	藤沢 太郎	藤沢市朝日町1番地の1	農業					
2 許可を受けようとする土地の所在等	土地の所在	地番	地目 登記簿 現況	面積	利用状況	10a当たり 普通収獲高	所有権以外の使用収益権 が設定されている場合 権利の種類 権利者の氏名 又は名称	市街化区域・市街 化調整区域・その 他の区域の別	
	藤沢市 宮原字中原	1234-1	畑 畑	m ² 200				市街化 調整区域	
	以下余白								
	計			200 m ² (田 m ² 、畑 200 m ² 、採草放牧地 m ²)					
3 転用計画	(1) 転用の目的	自己住宅		(2) 権利を設定し、又は移転しようとする理由の詳細 別紙 理由書のとおり					
	(3) 事業の操業期間又	許可日から永久年間							
	(4) 転用の時期及び転用の目的に係る事業又は施設の概要	着工日は許可(予定)日以降となるように設定	着工 令和〇〇年 6月 1日 から 令和〇〇年 9月 30日まで						
		工事計画	名称	棟数	建築面積	所要面積			
		土地造成				200 m ²			
		建築物		1	100 m ²				
		小計		1	100	200			
工作物									
小計									
計			1	100	200				
4 権利を設定・移転しようとする契約の内容	権利の種類	権利の設定・移転の別	権利の設定・移転の時期	権利の存続期間	その他				
	使用貸借権	設定 移転	許可日後	永久年間					
5 資金調達についての計画	工事費 25,000,000円 (税込) (自己資金10,000,000円、融資15,000,000円)								
6 転用することによって生ずる付近の土地・作物・家畜等の被害の防除施設の概要	①申請地の東側は道路、西側は畑、南側は宅地利用、北側は道路となっており、西側農地との境界にコンクリートブロック2段(地上高20cm)を設置し土砂等の流出を防ぎます。 ②汚水・雑排水は合併浄化槽にて処理し宅地内浸透処理、雨水は雨水浸透マスを設置し宅地内浸透処理とします。 ③近隣には本計画について十分説明し了承を得ており、苦情等があった場合には転用事業者が対応します。								
7 その他参考となるべき事項	都市計画法第32条の規定に基づく協議終了済								

着工日は許可(予定)日以降となるように設定

(権利の種類)
所有権移転、賃借権設定、
使用貸借権設定

(記載要領)

1 氏名(法人にあつては代表者の氏名)を自署する場合に於ては、
他法令手続きが必要な場合、手続きの進捗状況
について記載してください。
例: 開発許可(市)、特定河川法(県)、土砂条例(県)
等

① 申請地の東・西・南・北の土地利用の状況について記載してください。また、農地との境界に対する土砂流出防止方法(土留等の設置 ※地上高を明記すること)について記載してください。
② 排水処理方法(雨水・汚水)について、記載してください。
③ 近隣への説明及び同意状況について、記載してください。

5 「10a当たり普通収獲高」欄には、採草放牧地にあつては採
6 「市街化区域・市街化調整区域・その他の区域の別」欄には、
これ以外の区域のいずれに含まれているかを記載してください。
7 申請に係る土地が市街化調整区域内にある場合においては、転
許可を要しないものであるときは、その旨並びに同法第29条及
であるときはその旨及び同法第34条の該当号を、転用行為が建
4条第1号から第10号まで又は都市計画法施行令第36条第1
開発行為および建築行為のいずれも伴わないものであるときは、その旨及びその理由を、「その他参考となるべき事項」欄に記載
してください。